

**自動販売機設置事業者**

IIMURO GLASS市民スポーツセンターと市内七つの公園へ自動販売機の設置を希望する事業者、施設の一部を4月1日から3年間貸し付け。詳細は市HPにある入札案内書参照。申1月24日～2月7日に同センターはスポーツ課(☎70・5656)、公園はみどり公園課(☎70・5627)へ直接



**お知らせ**

**国民年金保険料は口座振替で前納がお得**

国民年金保険料は、口座振替で前納すると他の方法で前納するよりも割引額が多くお得です。4月を基準月として2年度分、1年度分、6カ月分を前納できます。▶申「国民年金保険料口座振替納付(変更)申出書」(各年金事務所や各市役所に設置。日本年金機構のHPからダウンロード可)を、市役所には2月10日まで、厚木年金事務所には2月28日までに提出▶その他 前納した期間の途中で厚生年金などに加入した方は、加入月以降の同保険料が還付されます▶問 保険年金課☎70・5618 か同事務所☎046・223・7171

**IIMURO GLASS 市民スポーツセンター情報**

●施設無料開放  
利用できない施設があるので要確認。  
時2月6日(日)9時～17時場同センター対市内在住・在勤・在学の方持運

**どうなる今後の日本！  
池上さんに聞いてみよう！**

**オンライン講演会**

分かりやすいニュース解説で知られるジャーナリストの池上彰さんの講演会(Zoomによるオンライン)。時2月21日(月)16時～17時30分定1500人(申込順)注(公社)県宅地建物取引業協会県央東支部申2月16日までに申し込みサイトHP https://rod-m.com/220221/9969.htmlへ 問同法人☎046・264・6737



池上彰さん

申し込みはこちら



動着・靴、ラケットなど申当日8時30分から同センター☎76・9292か直接 ●同センター、野球場などの利用申し込み ▶4月分利用申し込み 2月1日(火)8時30分から市HP公共施設予約システムか同センター ▶5月分の利用抽選▶対 登録区分が「市民」「市民1/2超」の団体▶申 2月1日～15日に同システムか同センター ●トレーニング講習会 トレーニング室の器具の使用方法などの講習会。時同センターで要確認対高校生以上の方(同室を初めて利用する方は必ず受講)持運動着、体育館履き ●その他 新型コロナウイルス感染症対策のルールがあります。詳しくは同センターHP https://nicspark.com/ayase/ をご覧ください

**4年度市奨学金の申請**

経済的な理由で高等学校への修学が困難な方に、奨学金を給付します。▶月額

国公立5000円、私立1万円(所得制限あり。現在、中学3年生で4月から進学予定の方も申請可)▶申 3月10日までに、学校教育課(☎70・5654)にある申請書に記入し、世帯全員の所得を証明する書類、在学校の校長推薦書などを添えて、同課へ直接(申請書と推薦書は市HPからダウンロード可)

**3年度就学援助の申請期限**

経済的理由で小・中学校への就学が困難な家庭に、給食費や学用品費などの一部を援助しています。3年度の申請期間は2月28日まで。申学校教育課(☎70・5654)か各学校にある申請書に記入し、同課か各学校へ直接

**市民からのお知らせ**

3/15号原稿は2/8締め切り

**市内のちょっと珍しい文化財を紹介⑦**

**団子を食べる無病息災 ～どんど焼き～**

問生涯学習課☎70・5637



寺尾下分のどんど焼き

お正月行事の一つとして知られるどんど焼きとは、どのような文化なのでしょう。

**宮中の行事がどんど焼きに**

平安時代、1月15日に京都御所清涼殿の東庭で青竹を束ねて立て、正月に使った扇子や短冊、苦書などを添えて焼いた宮中の左義長という行事がありました。この火祭り行事が民間に広まり、どんど焼きになったといわれています。

どんど焼きは、セトバライの他、団子を焼くことからダンゴヤキなどともいわれる、こしょうがっの行事です。小正月は正月期間の節目の日で、この日を境に日常に戻ります。小正月は、1月14日～16日の間というところが多く、綾瀬でも15日までは小正月だという記録が残っています。

**無病息災を願い正月飾りを燃やす**

市内では、以前は1月14日に地区の講中や組合の人々が、集落のつじ



小園赤坂のどんど焼き

つじでまつっていた道祖神を中心に行っていました。道祖神のお祭りという側面もあり、どんど焼きのときには、道祖神ののぼり旗も立てられました。現在では、講中の他に自治会や子ども会でも傳承されています。参加しやすいように、14

日前後の日曜日に実施される傾向があります。



小園古東海道入り口のどんど焼き。天保3(1830)年の道祖神ののぼり旗を立てて行います

内容は、地域によりさまざまですが、共通しているのは、正月のしめ飾りや門松などのお飾り、書き初めを燃やし、その火で柄が長い三つまたの枝に三つ刺した団子を焼いて食べるということです。その団子を食べ、1年間の無病息災や五穀豊穰、魔除け、盗難よけなどを願った他、養蚕を行っている家では良い繭がとれることを願いました。

子どもの書き初めを燃やすことで、習字が上達するともいわれます。子どもを見守る神様でもある道祖神と深く



書き初めやお飾りを燃やす様子

関わりのあるどんど焼きには、子どもの成長に関する願掛けが多いことも特徴です。

**どんど焼きの団子って？**

どんど焼きで欠かせない団子は、米を洗って臼でひいた粉を湯で練り、蒸して作るものです。自分の年の数ほど作ったようで、家族の分を含めると200個ほどになることもあり。丸形その他、小判形や繭形のものもあります。

色は、白が基本ですが食紅で赤くしたり、ヨモギで緑色にしたりしたものもあります。養蚕を行っている家によっては、質の良くない繭の色に似ていることから赤色は絶対に作らないというところもありました。

作った団子は、ネコやサルなどいろいろな形をした菓子のもなかやミカンと一緒に、団子の木(クヌギやカシ)に刺し、繭玉飾りとして座敷に飾りました。小枝に団子を刺したものを、神棚や仏壇、床の間など家中の神仏に供える他、鎮守の神社や道祖神など集落でまつっている神仏にも供えました。



繭玉団子を供える様子

正月飾りなどを燃やすことや、その火で団子を焼いて食べることに、多くの意味があるというのは興味深いことです。時代とともにその意味合いは変化していきますが、無病息災や子どもの健やかな成長を願う気持ちは昔も今も変わりはないようです。